



少年非行等の概要について (令和2年1月末～暫定値)

令和2年2月
秋田県警察本部少年女性安全課

1 非行少年

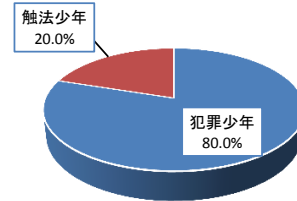
(1) 検挙・補導状況

区分	年別	令和元		令和2		増減(人)		増減率(%)	
		うち女子		うち女子		うち女子		うち女子	
総数		4		5		1		25.0	
刑法犯	小計	4		4					
	犯罪少年	2		3		1		50.0	
	触法少年	2		1		△1		△50.0	
特別法犯	小計			1		1			
	犯罪少年			1		1			
	触法少年								
ぐ犯少年									

【非行少年】

非行少年総数は5人で、前年同期に比べ1人(25.0%)増加した。

非行少年種別



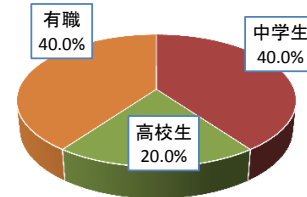
(2) 学職別

区分	年別	令和元	令和2	増減(人)	増減率(%)
総数		4	5	1	25.0
小計		4	3	△1	△25.0
小学生		1		△1	△100.0
中学生		2	2		
高校生		1	1		
大学生					
各種学生					
有職少年			2	2	
無職少年					

【学職別】

中・高校生が全体の60.0%を占めている。

非行少年学職別



(3) 刑法犯(犯罪・触法)罪種別

区分	年別	令和元	令和2	増減(人)	増減率(%)
総数		4	4		
凶悪犯	小計				
	殺人				
	強盗				
	放火				
	強姦				
粗暴犯	小計		1	1	
	暴行		1	1	
	傷害				
	脅迫				
窃盗犯	小計	3	2	△1	△33.3
	強盗				
知能犯	小計				
	詐欺				
	横領				
風俗犯	小計				
	賭博				
その他		1	1		

【刑法犯罪種別】

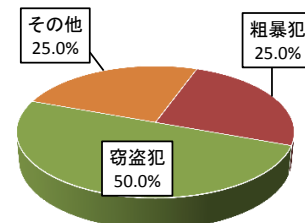
粗暴犯は1人で、前年同期に比べ1人増加。

窃盗犯は2人で、前年同期に比べ1人(33.3%)減少。

刑法犯全体の50.0%を占めている。

その他の刑法犯は1人で、前年同期と同数。

刑法犯罪種別



※ 統計図表中の構成比は、四捨五入してあるため総計が必ずしも100.0にならない場合がある。

(4) 初発型非行検挙・補導状況

区分	年別	令和元	令和2	増減(人)	増減率(%)
総	数	3	2	△ 1	△ 33.3
窃盗	万引き	2	1	△ 1	△ 50.0
	オートバイ盗				
	自転車盗	1		△ 1	△ 100.0
占有離脱物横領			1	1	
刑法犯検挙・補導少年総数(占める割合)		4 75.0%	4 50.0%	△25.5P	

【初発型非行】

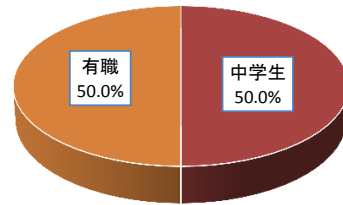
初発型非行で検挙・補導された少年は2人で、前年同期に比べ1人(33.3%)減少。

また、刑法犯少年総数に占める割合は、75.0%で前年に比べ25.0ポイント低くなった。

学職別では、中学生が1人、有職少年が1人であった。

学職	区分	総数(人)	万引き	オートバイ盗	自転車盗	占有離脱物横領
総	数	2	1			1
小学生						
中学生		1	1			
高校生						
大学生						
各種学校生						
有職少年		1				1
無職少年						

初発型非行学職別



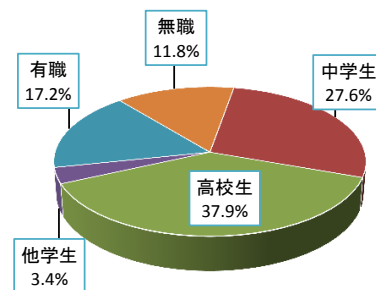
2 不良行為少年補導状況

行為別	年別	令和元	令和2	増減(数)	増減率(%)
総	数	34	29	△ 5	△ 14.7
飲	酒	7	8	1	14.3
喫	煙	2		△ 2	△ 100.0
薬物乱用					
粗暴行為		4	5	1	25.0
刃物等所持					
金品不正要求		1		△ 1	△ 100.0
金品持ちだし		1		△ 1	△ 100.0
性的いたづら					
暴走行為					
家出		5	9	4	80.0
無断外泊			1	1	
深夜はいかい		7	3	△ 4	△ 57.1
怠学					
不健全性的行為			2	2	
不良交友					
不健全娯楽		7	1	△ 6	△ 85.7
その他					

【不良行為少年】

行為別では、家出が9人で最も多く、次いで飲酒が8人、粗暴行為が5人となっている。

不良行為少年学職別



※ 統計図表中の構成比は、四捨五入してあるため総計が必ずしも100.0にならない場合がある。